

# 平成28年 県政の軌跡

I 県民と親しみ、県外に進攻した活動実績	1 頁
II 談合システムからの訣別と清潔な県政の実現	2
III 新しい県政の運営方法の導入	2
IV 未来を拓くひたむきな人間力を育む和歌山	
1. 元気な和歌山の未来を拓く人づくり	4
2. 明るく元気な社会づくり	5
V 生涯現役で誰もが活躍できる和歌山	
1. 少子化対策の充実	8
2. 福祉の充実	8
3. 健康わかやまの実現	8
VI 国際競争力のあるたくましい産業を育む和歌山	
1. 商工業の振興	10
2. 農林水産業の振興	12
VII 癒しと感動を与える誇れる郷土和歌山	
1. 観光の振興	17
2. 誇れる郷土づくり	18
3. 環境・自然の保全	19
VIII 県民の命と暮らしを守る安全安心和歌山	
1. 防災・減災社会の実現	20
2. 暮らしの安全・安心	21
IX にぎわいと交流を支える公共インフラを整備する和歌山	
1. 交通ネットワークの充実	22
2. 快適な暮らしの実現	22
○平成18年12月以降の本県への企業立地動向	23

# I 県民と親しみ、県外に進攻した活動実績

	1期目	2期目	3期目	
			就任9年目	就任10年目
	(H18.12.19～ H22.11.30)	(H22.12.1～ H26.11.30)	(H26.12.1～ H27.11.30)	(H27.12.1～ H28.11.30)
○県内から県庁を訪問 して下さったお客様	860 グループ	811 グループ	122 グループ	156 グループ
○県外から県庁を訪問 して下さったお客様	469 グループ	371 グループ	94 グループ	89 グループ
・国機関関係	101 グループ	100 グループ	16 グループ	22 グループ
・外国関係	52 グループ	60 グループ	13 グループ	22 グループ
○式典・大会出席挨拶	1,170 回	1,355 回	346 回	347 回
○講演・シンポジウム	114 回	125 回	26 回	46 回
○県内各地への 出張回数	404 回	465 回	121 回	78 回
○県外各地への 出張回数	263 回	251 回	68 回	56 回
・東京	102 回	93 回	34 回	26 回
・大阪	95 回	100 回	21 回	20 回
・他府県 (東京、大阪除く)	62 回	58 回	13 回	10 回
・外国	6 回	10 回	4 回	3 回
	(中国、スペイン、イタリ ア・フランス、ブラジル・ ペルー、トルコ、中国)	(中国、アメリカ、香港・シンガ ポール、デンマーク・スペイ ン、タイ・オーストラリア、香 港、インド、ブラジル、アメリ カ、香港)	(インド・ベトナム、アメリ カ・メキシコ・カナダ、イタリ ア、トルコ・スペイン)	(イタリア、インドネシア・香 港、マレーシア・山東省)
○公用車の 走行距離	96,110 Km	104,240 Km	25,021 Km	25,713 Km
○県内企業訪問	63 回	23 回	4 回	6 回
○国の要人との政策 議論・要望	173 項目 234 回	175 項目 254 回	56 項目 68 回	46 項目 80 回
○企業首脳トップ セールス	158 回	160 回	38 回	54 回

## II 談合システムからの訣別と清潔な県政の実現

### ○入札制度の見直し(4月)

#### 1. 最低制限価格等の見直し

ダンピング受注の防止を図る観点から、建設工事の最低制限価格及び調査基準価格、建設工事にかかる委託業務の最低制限価格の一部を改定

#### 2. 建設業法施行令の一部を改正する政令への対応

建設業法施行令の改正により総合評価落札方式で発注する工事の一部で配置技術者が非専任となる工事が生じるため、評価値が高い技術者による工事の寡占受注や契約変更により技術者の専任配置を要する場合の他工事での適正な技術者配置の影響を懸念して、同一技術者による総合評価落札方式の受注件数を2件に制限

#### 3. 和歌山県建設工事等契約に係る入札参加資格停止等措置要綱の改正

- ・ 不良・不適格業者の排除の徹底
- ・ 建設業法及び各種法令違反に対する入札参加資格停止措置の強化
- ・ 代理入札の取り締まり

#### 4. 資本関係等のある複数の者の同一入札への参加制限

- ・ 資本関係又は人的関係のある複数の者の同一入札への参加を制限
- ・ 複数の法人又は個人により構成される組合等やその組合を構成する法人又は個人の同一入札への参加を制限

#### 5. 社会保険等未加入業者の入札参加制限

平成28・29年度の入札参加資格審査から社会保険等への加入を審査条件に追加

## III 新しい県政の運営方法の導入

### ○ 知事が直接県民の皆様と意見交換する「和歌山県行政報告会」を開催 (平成28年実績:29回)

### ○ 「新行財政改革推進プラン(改定版)～持続可能な県政へ～」に基づく行財政改革の取り組み

- ・ 職員数の見直し ▲88人
- ・ 事務事業の一層の見直し ▲10.2億円

### ○ 組織改正(4月)

#### ◇ 文化・学術を振興するための体制強化

国民文化祭の平成33年度開催を目指し、文化事業を推進するとともに、私立学校・高等教育機関の振興に一元的に取り組むため、文化学術課を設置

#### ◇ 国際交流を推進するための体制強化

経済分野を中心とする国際交流の推進と国際交流を通じた地域の活性化に取り組むため、国際課を設置

#### ◇ 地域における農林水産業を振興するための体制強化

たくましい農林水産業の創出に向け、地域に密着した取組の強化を図るため、振興局に農林水産振興部を設置

#### ◇ 地方創生の推進と新長期総合計画の策定のための体制強化

「和歌山県まち・ひと・しごと創生総合戦略」の実現と新たな長期総合計画の策定に取り組むため、企画総務課の計画班を計画第一班と計画第二班に再編

#### ◇ 県民運動を支援するための体制強化

- ・ 国体・大会で醸成された県民運動の機運を継承発展させていくため、県民生活課に県民運動班を設置
- ・ 公益法人、NPO法人その他社会貢献活動を行う団体の健全な発展を促進するため、NPO・県民活動推進室を県民活動団体室に再編

- ◇ サービス産業を誘致するための体制強化  
外国人観光客の増加などに対応した観光産業その他のサービス産業の誘致に積極的に取り組むため、福祉産業立地室をサービス産業立地室に再編
- ◇ 民間業者との連携による地域活性化を推進するための体制強化  
公共と民間が連携した地域活性化の核となる地域拠点整備を推進するため、商工観光労働総務課にPFI推進室を設置
- ◇ 土砂災害対策を推進するための体制強化  
土砂災害に関する調査・研究の拠点として国の大規模土砂災害対策技術センターを誘致し、和歌山県土砂災害啓発センターを設置
- ◇ 空港・港湾のプロモーション推進体制の見直し
  - ・ 南紀白浜空港及び港湾施設の管理と利用促進を一体的に推進するため、企画部から事務を移管し、港湾空港課を港湾空港振興課に、企画調整班を調整班と振興企画班に再編
  - ・ 総合交通政策課の企画振興班を企画班に再編
  - ・ 空港対策室を廃止
- 人事異動(4月～)
  - ・ 中央省庁等への派遣を推進 1府7省4庁に20名
  - ・ 外国等への研修派遣を推進 5団体に9名
  - ・ 近隣府県との交流を推進 京都府、大阪府、兵庫県、鳥取県、関西広域連合に7名
  - ・ 民間等との交流を推進 8団体に9名
  - ・ 県と県内市町村等との人事交流を推進 11市町等に18名
  - ・ 大学院等への研修派遣を推進 8名
  - ・ 災害復旧応援(岩手県・熊本県) 3名
- 新長期総合計画策定本部の設置(4月)  
和歌山県のめざすべき将来の姿とそのための施策の基本的方向性を明らかにするため、長期総合計画を策定することとし、知事を本部長とした「新長期総合計画策定本部」を設置  
本部長:知事  
副本部長:副知事、企画部長  
本部長:知事室長、危機管理監、各部長、会計管理者、各振興局長、教育長、警察本部長
- 総務省統計局・(独)統計センターの統計データ利活用業務移転決定(9月)
  - ◇ 政府関係機関移転に係る実証実験の結果、以下の取組が決定
    - ・ 和歌山県に「統計データ利活用センター(仮称)」を置き、平成30年度から統計マイクロデータ提供等の業務を実施
    - ・ 平成29年度にはデータサイエンスの推進や人材育成を柱とする産官学が連携した統計データ利活用促進プロジェクトの実施、統計マイクロデータを利活用できるオンサイト施設の整備に向けた取組を実施
  - ◇ 「和歌山県データ利活用推進プラン」策定(9月)  
産官学のさらなるレベルアップを図るとともに、本県が日本のデータ利活用の拠点となることをめざし、データ利活用に関する本県の取組方針や施策をまとめた「和歌山県データ利活用推進プラン」を策定
  - ◇ 「和歌山県統計大会」の実施(5月、11月)  
統計関係者の士気高揚と統計思想の普及・啓発を図るため、25年ぶりに「和歌山県統計大会」を開催

## IV 未来を拓くひたむきな人間力を育む和歌山

### 1. 元気な和歌山の未来を拓く人づくり

#### ○「国際人育成プロジェクト」の実施

- ・ 英語教員に対する指導力向上研修・TOEIC受験・語学力アップ研修
- ・ 中学3年生の英検受験(10月、11月)
- ・ 高校生による「英語ディベート大会」の開催(10月)
- ・ 英語授業改善研究協議会による授業改善の推進
- ・ 生徒の海外留学支援事業の実施
- ・ 第5回わかやま高校生クイズin English(8月)

#### ○ アジア・オセアニア高校生フォーラム(7月、8月)

和歌山県内外、およびアジア、オセアニアの20の国と地域の生徒が一堂に会し、「防災」「環境」「観光文化」「情報」「国際問題」等の課題について意見交換、プレゼンテーション等を実施

日程:7月30日～8月3日

場所:県民文化会館等

#### ○ 和歌山県学習到達度調査の実施(12月)

県内公立小学校4～6年、中学校1・2年と特別支援学校小学部4～6年、中学部1・2年を対象に、個に応じた指導の充実と学習内容の定着のために国語、算数・数学で実施

#### ○「高校生のための和歌山未来塾」を開催

1月 真砂 靖(弁護士・元財務事務次官)

田辺市、和歌山市

9月 坂本すが(公益社団法人日本看護協会会長)

田辺市

9月 浦 聖治(クオリティグループCEO)

和歌山市

11月 田中雅美(スポーツコメンテーター)

和歌山市

#### ○ ふるさと教育副読本「わかやま何でも帳」を改訂し、県内全ての中学生に配付するとともに、一般販売を開始(5月)

#### ○「統計出前授業」の実施(6月～)

データやグラフを通じてふるさと和歌山を知り、統計に親しんでもらうため、小中学生を対象とした出前授業「統計っておもしろい! 数字でみる和歌山」を13校で実施

#### ○ 科学技術教育

- ・ 第4回きのくにジュニア科学オリンピックを開催(9月)
- ・ 第5回きのくに科学オリンピックを開催(11月、12月)
- ・ きのくにロボットフェスティバル2016を開催(12月)

#### ○ いじめ問題対策

- ◇ 「和歌山県いじめ防止基本方針」の周知、「いじめ問題対応マニュアル」の周知・活用  
重大事態においては、学校、教育委員会及び知事が総がかりの調査を実施
- ◇ いじめ等の相談窓口の拡大
  - ・ 「知事メール」「教育長POST」で受付
  - ・ いじめ相談電話(24時間対応)の設置
- ◇ いじめの実態把握(県立学校、市町村立学校、私立学校においてアンケートを実施)  
いじめ認知件数に対する解消率が97.8%で全国2位(平成27年度文部科学省調査結果)

#### ○ 不登校対策

- ・ 不登校問題の抜本的な対策を検討するため設置していた有識者会議から県に対し、その対策を「不登校を生まない学校づくり」、「未然防止の取り組み」、「早期発見・早期対応の取り組み」、「学校復帰支援の取り組み」の4項目に分けて提言(7月)
- ・ この提言を踏まえ、不登校問題に対応するためのマニュアル作成など、具体的な施策を検討中

- 和歌山県大学生等進学給付金の創設  
経済的な理由により大学等への進学が困難な学生を支援するため、給付型奨学金制度を創設
- 高等教育機関の充実
  - ・ 学校法人青葉学園東京医療保健大学と日本赤十字社和歌山医療センター、和歌山県及び和歌山市は、平成30年度に予定している和歌山看護学部(仮称)設置に向けた連携協定を締結(5月)
  - ・ 県立医科大学薬学部設置基本計画書の策定・公表(8月)
- 「若者サポートステーションWith You」  
県内3か所の若年無業者の職業的自立を支援する地域若者サポートステーションに、若者のあらゆる相談を受け付ける総合窓口を併設し、就労支援のほか、健康面や家庭面等を含む包括的な支援を、地域の関係機関と連携・協力して実施
- 青少年自身がリーダーとなって地域の青少年を育成する循環システムを構築するための「リレー式次世代健全育成事業」を継続実施
- 防犯カメラの設置推進  
県内の防犯環境を整備するため、通学路や閑散地域に防犯カメラを設置する市町村を支援
- 青少年ネット安全・安心のための環境整備
  - ◇ ネット依存の防止及び情報モラル教育を行う教員を養成するとともに、ネットパトロールによる有害情報対策を推進
    - ・ ネット指導教員養成講座の実施  
受講者数: 県内小・中・高等学校及び特別支援学校の教員など約700人
    - ・ ネット依存防止啓発セミナー・研修会の開催  
開催日: 2月8日(田辺市)、2月15日(和歌山市)  
受講者数: セミナー150人、支援機関研修会38人
- 「不幸な猫をなくすプロジェクト」の実施(4月～)  
殺処分される不幸な猫や野良猫による生活環境被害の減少を図るため、地域猫対策の支援やボランティアと協働した譲渡を開始

## 2. 明るく元気な社会づくり

### ① 文化芸術の振興

#### ○ 第70回和歌山県美術展覧会(10月、11月)

洋画・日本画・書・写真・工芸・彫塑・華道の7部門からなる県内最大の公募による美術展覧会を巡回開催

本展	10月12日～23日	場所	和歌山県立近代美術館、県民文化会館
橋本展	11月9日～13日	場所	和歌山県立橋本体育館
上富田展	11月16日～20日	場所	上富田文化会館
新宮展	11月23日～27日	場所	新宮市立総合体育館

#### ○ 第2回和歌山県ジュニア美術展覧会(10月、11月)

絵画・書・立体の3部門からなる小・中学生を対象とした公募による美術展覧会を巡回開催

本展	10月26日～30日	場所	和歌山県立近代美術館
橋本展	11月9日～13日	場所	和歌山県立橋本体育館
上富田展	11月16日～20日	場所	上富田文化会館
新宮展	11月23日～27日	場所	新宮市立総合体育館

#### ○ 松下幸之助シンポジウム(12月)

明治大学において、松下電器産業(現:パナソニック)を創業し、世界的企業へと成長させた経営の神様「松下幸之助」氏を顕彰するシンポジウムを開催

場 所 明治大学アカデミーコモン3階アカデミーホール  
参加者 約1,000名

○ 文化財の指定

- ・「新宮の速玉祭・御燈祭り」が、国の重要無形民俗文化財に指定(3月)
- ・特別史跡岩橋千塚古墳群にある大型前方後円墳である大日山35号墳出土品が、国の重要文化財に指定(8月)
- ・特別史跡「岩橋千塚古墳群」が追加指定(10月)  
最大規模の前方後円墳である天王塚古墳と大谷山22号墳の一部が追加指定  
追加指定面積 10,737.51㎡(追加後の特別史跡面積 619,538.51㎡)
- ・旧戸田家住宅(広川町)1箇所6件が、国の登録有形文化財(建造物)に登録(11月)

○ 熊野灘の捕鯨文化にまつわるストーリー「鯨とともに生きる」が日本遺産に認定(4月)

- ・日本遺産「鯨とともに生きる」を活用した熊野地域への誘客促進及び地域活性化を目的に、熊野灘捕鯨文化継承協議会を設立(5月)

○ 第40回ユネスコ世界遺産委員会臨時会合において、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の追加登録が決定(10月)

- ・熊野参詣道の中辺路9地点と大辺路9地点、高野参詣道4地点の計40.1kmが追加  
(追加後の総延長347.7km)
- ・資産保有市町は、橋本市、上富田町、串本町を加え、11市町に増加

○ 旧和歌山県議会議事堂の開館(4月)

- ・岩出市根来地内において平成24年度より進めてきた、旧和歌山県議会議事堂(和歌山県指定文化財)の移転整備事業が3月に完了し、開館式典及び記念イベントを開催
- ・和歌山県議会6月定例会開会日を旧県議会議事堂にて開催

○ 「南葵音楽文庫の寄託契約に係る調印式」開催(12月)

- ・読売日本交響楽団の所有する南葵音楽文庫(紀州徳川家の第16代当主である徳川頼貞が、私財を投じて収集した音楽書・楽譜等のコレクション)の保管を和歌山県に移し、活用する契約を締結

② スポーツの振興

○ 第71回国民体育大会「希望郷いわて国体」において、本県選手団は20位に(10月)

- 第71回国民体育大会(希望郷いわて国体)成績
- ・男女総合成績(天皇杯) 1,008.5点 第20位
- ・女子総合成績(皇后杯) 544点 第29位

○ 和歌山県ゴールデンキッズ発掘プロジェクト

本県から将来オリンピック等の国際舞台で活躍できる競技者を輩出することを目的とし、現在107名のゴールデンキッズを養成

○ パラリンピック陸上競技ナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点施設に田辺スポーツパークが指定(3月)

- ・パラリンピック陸上競技日本代表候補選手がリオデジャネイロ2016パラリンピック競技大会の強化合宿を田辺スポーツパークで実施(6月)

○ オリンピック等のキャンプ誘致

- ・競泳日本代表選手(トビウオジャパン)がリオデジャネイロ2016オリンピック競技大会の事前合宿を実施(6月)
- ・スイミングカナダと2018パンパシフィック水泳選手権、2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会における秋葉山公園県民水泳場での事前合宿に関する協定書に調印(11月)

○ 第16回和歌山県障害者スポーツ大会(5月、6月)

優秀な成績を収めた選手51名が「第16回全国障害者スポーツ大会・希望郷いわて大会」に出場

○ 第15回和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝競走大会開催(2月)

○ 第32回全国健康福祉祭(ねんりんピック)開催に向けた準備

- ・ねんりんピック紀の国わかやま2019実行委員会(仮称)設立準備会の開催(5月～)
- ・開催種目や会場市町村の県の素案を公表(10月)

○ 関西ワールドマスタースゲームズ2021の開催地が決定(10月)

県内の4市町で5競技7種目が開催予定

③ 国際交流の推進

○ 知事のインドネシア・香港訪問(4月)

◇ インドネシア関係 (日程:4月16日~19日)

- ・ インドネシア商業省との間で経済交流促進を目的とした共同声明を発表するとともに、経済交流の拡大や誘客を図るため、現地企業に対するプロモーションやセミナーを開催
- ・ アチェ州の津波博物館において、和歌山コーナー開設式典を開催

◇ 香港関係 (日程:4月20日~22日)

- ・ 訪日団体旅行取扱第1位のEGLツアーズ袁社長と会談し、同社創立祝賀会に出席するとともに、さらなる誘客を図るためPR活動を実施
- ・ 経済交流活性化の覚書を締結している香港貿易発展局総裁と会談し、同局主催の香港ハウスウェア・フェアを視察するとともに、外食関係企業・団体に、県産品の販路拡大の協力依頼を実施

○ 外務省・飯倉公館活用対外発信事業(11月)

外務省と連携し、本県の観光、食、伝統工芸、先進技術などの様々な魅力を世界に向け情報発信するため、セミナー及びレセプションを外務省飯倉公館において開催

日 程:11月10日

出席者:各国の駐日外交団、海外メディア関係者や国会議員など約300名

○ 知事のマレーシア・中国訪問(11月)

◇ マレーシア関係 (日程:11月14日~15日)

現地インポーターへの県産品の販路拡大や現地旅行会社への観光客誘致のトップセールスを行うとともに、日本国大使公邸においてプロモーション行事を実施

◇ 中国関係 (日程:11月16日~18日)

- ・ 北京において本県への観光客誘致を目的に、中国国家旅游局長と「観光を通じた地域振興」について会談するとともに、現地大手旅行会社で更なる誘客を図るため関係者へのPR活動を実施
- ・ 山東省では山東省長と会談し、山東省内の地方政府の幹部研修の受け入れや相互ファムトリップの実施を協議

○ アジア・オセアニア高校生フォーラム(7月、8月) \*再掲

和歌山県内外、およびアジア、オセアニアの20の国と地域の生徒が一堂に会し、「防災」「環境」「観光文化」「情報」「国際問題」等の課題について意見交換、プレゼンテーション等を実施

日程:7月30日~8月3日

場所:県民文化会館等

④ 人権尊重社会の実現

○ 講演会「企業における人権」(1月)

県内の中小企業等に対して、企業の社会的責任としての人権尊重の理念を普及させ、人権意識の涵養を図るため、講演会を紀南文化会館及び和歌山ビッグ愛において開催

内 容 ①企業におけるCSRの現状と障害者差別解消法について

②ユニバーサル・デザインについて

○ 「和歌山県人権尊重の社会づくり協定」新規締結(10月)

県内の企業、NPO等の団体と県が協働することにより、人権啓発活動を積極的に展開するため、「和歌山県人権尊重の社会づくり協定」を締結

新規締結団体 16団体



## V 生涯現役で誰もが活躍できる和歌山

### 1. 少子化対策の充実

#### ○ 出会い・結婚の支援

全県的に男女の出会いの場を提供するため、婚活イベントを県で主催するとともに「わかやま婚活応援隊」や「わかやま結婚サポーター」が企画する婚活イベントを支援

#### ○ 妊娠・出産の支援

特定不妊治療の自己負担軽減のため、助成制度を大幅に拡充(4月～)

#### ○ 多子世帯の経済的負担の軽減

保育料の無料化を3歳未満児から小学校就学前に引き上げるなど、「紀州3人っこ施策」をバージョンアップ(4月～)

#### ○ 子育てと仕事の両立支援

- ・ 放課後児童クラブやファミリー・サポート・センター事業など多様な保育事業を推進
- ・ クラウドソーシングを利用した在宅就労(テレワーク)を紹介する「和歌山テレワークフェア」を県内2か所で開催

#### ○ 保育・育児環境の整備

- ・ 介護事業内保育所の施設整備支援など保育所整備を推進
- ・ 保育人材確保に向けた、返還免除付き貸付事業を開始(10月～)

### 2. 福祉の充実

#### ○ 老後の安心をもたらす介護・高齢者福祉の充実

- ・ 地域や民間事業者による高齢者の見守り
- ・ 在宅で生活する認知症の人と家族を地域で見守る認知症サポーターの養成
- ・ 地域に根ざした健康づくり運動を展開するため、健康推進員を養成
- ・ 元気な高齢者が地域社会に貢献できるようシニア活動推進拠点を設置
- ・ 高校生等が介護資格を取得できるよう研修等を実施し、新規就労と介護職の定着を促進
- ・ 介護職員の処遇改善や事業所内保育所の整備により、介護職員の離職防止と再就業を促進
- ・ 外出困難高齢者を支援するため、福祉有償運送を行う社会福祉法人等を支援

#### ○ 高齢者の安心を確保する基盤づくり

平成27年に策定した介護保険施設等整備計画(目標:2030年)に基づき、施設整備等を推進

#### ○ 障害のある人が暮らしやすい社会づくり

- ・ 様々な障害の特性、障害のある人が困っていることや必要としている配慮を理解し、サポートを実践する「あいサポート運動」を開始
- ・ 外見から障害や難病のあることが分からない人が周囲に援助や配慮を必要としていることを知らせる「ヘルプマーク」の交付を開始

#### ○ 子どもの居場所づくり

- ・ 子ども食堂など食事の提供を行う民間の取組を支援
- ・ 放課後ひとりで過ごさなければならない子どもたちの居場所を公民館等に設け、学習支援等を実施

### 3. 健康わかやまの実現

#### ① 医療提供体制の充実

#### ○ 地域医療構想の策定

2025年の目指すべき医療提供体制を定め、地域の医療機能の分化と連携を推進するための「和歌山県地域医療構想」を策定・公表(5月)

- わかやま在宅医療推進安心ネットワークの構築
  - ・ 在宅医療の総合窓口として「在宅医療サポートセンター」を設置し、かかりつけ医への支援体制を構築
  - ・ かかりつけ医の後方支援等を行う地域密着型協力病院の創設
  - ・ 在宅医療を担う医療従事者の養成
- 地域医療支援センター(県立医科大学に設置)の運営
  - 若手医師のキャリア形成支援や地域の拠点病院等で勤務する医師への支援、医師不足病院への対応を一元的に実施
- 看護職員の確保対策
  - ・ 学校法人青葉学園 東京保健医療大学と日本赤十字社和歌山医療センター、和歌山県及び和歌山市は、平成30年度に予定している和歌山看護学部(仮称)設置に向けた連携協定を締結 再掲
  - ・ 潜在看護師の復職支援・就業促進などによる人材確保
- ② 健康づくりの推進
  - 健康づくり運動の展開
    - ・ 健康推進員、市町村、企業等の活動紹介や表彰を行うとともに、健康相談や食体験等のブース展開により県民の健康意識の高揚や食育の推進を図る「わかやま健康と食のフェスタ2016」を開催
    - ・ 健康推進員を養成することにより、地域で健診等を呼びかけるなど県民総参加の健康づくりを推進
  - がん対策の総合的な推進
    - ・ 市町村の検診案内の個別通知による受診勧奨について市町村を支援
    - ・ 胃がん予防対策のピロリ菌検査や肺がんの低線量CT検診実施について市町村を支援
    - ・ 全国がん登録の開始に伴う県内医療機関の報告体制の整備

## VI 国際競争力のあるたくましい産業を育む和歌山

### 1. 商工業の振興

#### ○ 企業立地の促進

- ・平成28年1月以降新たに12社の企業立地が決定(24頁参照)
- ・南海電気鉄道株式会社、橋本市、和歌山県の3者で、(仮称)あやの台北部用地における新たな工業団地開発について合意に至り、第1次事業細目協定を締結(2月)
- ・ICTわかやまフォーラムin白浜(11月)  
和歌山の優れた立地環境・優遇制度を紹介し、県外IT企業の誘致を促進するとともに、県内企業のIoT・ITに関する理解を深めるために開催(参加者200人)

#### ○ 「わかやま産品販路開拓アクションプログラム2016」を策定(4月)

#### ○ 和歌山県優良県産品(プレミア和歌山)の推進

- ・平成27年度(第8回)プレミア和歌山推奨品認定(3月)  
安全・安心を基本に、幅広い分野で優れた県産品等を“和歌山らしさ”“和歌山ならではの”の視点で推奨する、和歌山県優良県産品『プレミア和歌山』推奨制度の第8回認定品を発表  
認定品:66品目 48事業者  
〔 製造物分野 62品目(加工食品57品目、産業製品55品目)  
生鮮物分野 4品目(農産物2品目、畜産物1品目、特用林産物1品目) 〕
- ・プレミア和歌山紀州館設置(8月)  
汐留シオサイト(東京)において、プレミア和歌山認定商品等を販売
- ・首都圏プレミア和歌山PRイベントの開催(12月)  
メディア関係者など情報発信力のある方を対象に、プレミアパートナー・事業者を交えたトークや認定された食材の料理の試食等により、プレミア和歌山の魅力を発信するイベントを開催  
会場:ホテル椿山荘東京

#### ○ 首都圏での販路開拓を行う県内中小企業を支援するため、活動拠点となる「わかやまビジネスサポートセンター」を展開(6社入居)

#### ○ 見本市等に出展

- ・「第45回インターネフコン・ジャパン」への集団出展(1月)  
県内の中小企業が自社製品や技術をPRし、販路開拓のきっかけとするため、エレクトロニクス機器に関連する製造技術・実装技術の見本市への集団出展を実施。(出展企業 5社)
- ・フランス・メゾン・エ・オブジェ2016(1月)  
県内企業の優れた技術・製品の販路開拓、販売促進を支援するために、世界最大級のホームファッション見本市に集団出展を実施(出展企業 7社、1組合)
- ・イタリア・ミラノウニカ(2月)  
県内ニット及びレザー企業の優れた技術・製品の販路開拓、販売促進を支援するために、イタリアメーカーを中心とした生地素材、テキスタイルの世界最大規模の見本市に集団出展を実施(出展企業 4社)
- ・香港・ハウスウェア・フェア(4月)  
県内企業の優れた技術・製品の販路開拓、販売促進を支援するために、アジア最大の日用品見本市に集団出展を実施(出展企業 4社)
- ・第94回東京レザーフェア(6月)  
年2回開催される国内最大の皮革関係見本市に出展し、新たな販路開拓及び新製品の企画開発のための最新流行商品の情報収集を実施(出展企業 10社)
- ・「第20回機械要素技術展」への集団出展(6月)  
県内の中小企業が自社製品や技術をPRし、販路開拓のきっかけとするため、軸受、ベアリング、ねじ、ばねなどの機械要素や、金属、樹脂に関する加工技術を一堂に集めた展示会への集団出展を実施(出展企業 10社)

- ・ オールチャイナレザーエキシビション(8月)
  - 中国上海で開催されたアジア最大級の皮革見本市であるオールチャイナレザーエキシビションに和歌山ブースを出展。製品や観光PRを実施(出展企業 10社)
- ・ 「第82回東京インターナショナル・ギフト・ショー秋 2016」への集団出展(9月)
  - 県内の中小企業が持つ製品をPRし、販路開拓のきっかけとするためパーソナルギフトや生活雑貨の国際見本市への集団出展を実施(出展企業 16社)
- ・ 「IFFT/インテリアライフスタイリング 2016」への集団出展(11月)
  - 県内の中小企業が持つ製品をPRし、販路開拓のきっかけとするため国内外からの家具・デザイン・インテリア製品が一堂に会する国際見本市への集団出展を実施(出展企業 6社)
- ・ タイ メタレックス2016(11月)
  - タイ・バンコクで開催されるASEAN地域最大級の機械分野の展示会である「タイ メタレックス2016」に和歌山県ブースとして集団出展を実施(出展企業 4社)
- ・ 第95回東京レザーフェア(12月)
  - 年2回開催される国内最大の皮革関係見本市に出展し、新たな販路開拓及び新製品の企画開発のための最新流行商品の情報収集を実施。(出展企業 9社)
- 商談会等の開催・実施
  - ・ インドネシアビジネスミッション(4月、10月)
  - ・ 大阪ガス株式会社との商談会(8月)
  - ・ マレーシアビジネスミッション(11月)
- 中小企業向け融資制度の見直しを行い、中小企業者の資金繰りを支援
  - ・ 「新規開業資金(創業サポート枠)」の対象者を拡大
  - ・ 「成長サポート資金(チャレンジ応援枠)」の対象者を拡大
  - ・ 「成長サポート資金」の雇用拡大枠を大幅拡大し、新たに「人材投資枠」を創設
  - ・ 「資金繰り安定資金」の要件緩和
- 企画・提案型のビジネスモデルを目指す産地企業の取り組みを、企画段階から販売促進まで3年間一貫して支援する「わかやま地場産業ブランド力強化支援事業」を実施
  - 平成28年 採択 10企業、1組合
- 先端的な技術開発・実用化への支援を行う「先駆的産業技術研究開発支援事業」を実施
  - 支援実績:平成26年度18社(0.9億円)→平成27年度17社(1.3億円)
- 第4期わかやま塾の開講
  - 将来、和歌山県を支え、世界にはばたく人材を育成することを目的に、50歳未満の県内企業の経営者、幹部、後継者等を対象にした「わかやま塾」を開講(塾生:63名)
- 企業のものづくり現場の改善支援
  - (公財)わかやま産業振興財団に「わかやまものづくり改善インストラクター養成スクール」を4月に開校し、インストラクターや県内企業の現場リーダーを養成(スクール入校者:15名)
- スタートアップ創出支援
  - 志高い新たな創業者や既存企業の新事業展開(第二創業)などを目指す新たな担い手を育成するため、ベンチャーキャピタル等から構成されるスタートアップ創出支援チームと創業者・第二創業者とのマッチングを実施
  - ・ 応募社28社 ファイナリスト12社
- 中国の「和歌山」商標出願に異議申立(9月、11月)
  - 県は、中国・台湾・香港において、「和歌山」「紀州」の商標監視を行っており、中国において「和歌山」の商標が出願され、公告されていることが判明したため、中国商標局に対し異議申し立て
- 若者・女性の雇用対策の推進
  - ・ ワークフェスタ2016合同就職面談会(2月)
  - ・ わかやま就職フェアin東京(3月)
  - ・ Uターンフェア(4月、8月)

- ・和歌山県U・Iターン就職企業合同説明会(6月)
- ・きのくにものづくり企業合同説明会(11月)
- ・わかやまテレワークフェア(11月)
- ・わかやま就職フェア2016(12月)
- ・UIターン就職セミナー「和歌山で就職しよう！」(12月)

#### ○産業を支える人づくり

- ・産業を支える人づくりのため、県内5工業高校(和歌山工業高校、紀北工業高校、箕島高校、紀央館高校、田辺工業高校)において企業と連携したさまざまな人材育成の取組を実施
- ・全ての高校に置いて企業経営者等による講話や企業見学会など企業との連携による取組を進め、生徒や保護者に地元企業の魅力を伝え、県内就職を促進
- ・応募前サマー企業ガイダンス2016(6月)
- ・経済5団体に対する新規高等学校卒業予定者の求人拡大に係る要望活動(6月)
- ・大学と就職支援協定を締結(立命館大学、神戸学院大学、京都橋大学、大阪商業大学、関西学院大学)

#### ○産業人材の確保(和歌山県中核産業人材確保強化)

優秀な理工系・情報系人材を確保できるよう、県内企業に就職した学生に奨学金の返還金を助成

#### ○「紀の国わかやま戦略的強化分野雇用創造プロジェクト」を推進

第二次和歌山県産業技術基本計画で重点支援する戦略的分野を中心に、企業に対する事業拡大や人材確保の支援、及び求職者に対する就労支援等を実施し、新たな雇用を創出

- ・雇用創出目標 3年間で341人

#### ○「緊急雇用創出事業臨時特例基金活用事業」を実施

平成27年度事業実績

緊急雇用

県	20事業	335百万円	雇用数 133人	支援事業所数 130社
市町村	7事業	51百万円	雇用数 18人	支援事業所数 3社
計	27事業	386百万円	雇用数 151人	支援事業所数 133社

## 2. 農林水産業の振興

### ① 農業・水産業の振興

- 「和歌山県農水産物・加工食品の販売促進戦略 アクションプログラム2016」を策定(4月)
- 世界農業遺産「みなべ・田辺の梅システム」を活用した「地域振興アクションプラン2016」を策定(6月)
  - ・世界農業遺産「みなべ・田辺の梅システム」のPR及び梅の販売促進を目的とした首都圏イベント「うめえ!うめまつり2016」を開催(11月)
- プレミア和歌山紀州館設置(8月)\*再掲
 

汐留シオサイト(東京)において、プレミア和歌山認定商品等を販売

  - ・首都圏プレミア和歌山PRイベントの開催(12月)\*再掲
 

メディア関係者など情報発信力のある方を対象に、プレミアパートナー・事業者を交えたトークや認定された食材の料理の試食等により、プレミア和歌山の魅力を発信するイベントを開催  
会場:ホテル椿山荘東京
- みかん厳選出荷の取組推進
 

温州みかんの市場評価を高めるため、JAグループと連携し、厳選出荷2年目の取組がスタート
- 県産品のトップセールスを実施
  - ・ふるさと祭り東京2016(1月)
  - ・第10回わかやま産品商談会in大阪(2月)
  - ・マレーシアでの県知事トッププロモーション(11月)
- 商談会を開催
  - ・「伊藤忠食品との県内商談会」の開催(1月)
  - ・三井食品「商品内覧会」に出展(4月)
  - ・伊藤忠食品130周年記念展示会「FOOD VOYAGE」に出展(5月)

- ・三井食品「フードショー2016」に出展(6月)
- ・三井食品「関西メニュー提案会」に出展(7月)
- ・海外バイヤー及び国内輸出商社、現地小売店との交流・PR会(JETROと共催)(8月)
- ・国内輸出商社、現地小売店との商談会(8月)
- ・三井食品「商品内覧会」に出展(9月)

○ 国内見本市等に出展

- ・第50回スーパーマーケット・トレードショー2016に出展(県内29業者が参加)(2月)
- ・第41回FOODEX JAPAN 2016に出展(県内17業者が参加)(3月)
- ・第6回通販食品展示商談会に出展(県内8業者が参加)(7月)
- ・外食ビジネスウィーク2016に出展(県内8業者が参加)(8月)
- ・ACCI Gusto2016に出展(県内4業者が参加)(11月)

○ 百貨店等で和歌山フェア開催

- ・藤崎百貨店 第4回「伊勢志摩・紀州・名古屋フェア」開催(1月)
- ・山形屋百貨店 「三重・和歌山・奈良の物産展」開催(2月)
- ・小田急百貨店「全国うまいものめぐり～三重・和歌山特集～」開催(2月)
- ・中三青森本店 「三重・和歌山・奈良 紀伊半島物産展」開催(4月)
- ・西武池袋本店 「全国味の逸品会」に出店(4月)
- ・阪急うめだ本店 「パンフェア」に出店(5月)
- ・そごう横浜店 「和歌山物産フェア」開催(6月、10月)
- ・大丸神戸店「人気の味めぐり」に出店(6月)
- ・三越恵比寿店「和歌山フェア」開催(6月)
- ・阪急うめだ本店で「ココ・カラ。和歌山 桃フェア」開催(7月)
- ・三越銀座店「和歌山フェア」開催(11月)
- ・伊勢丹新宿本店「和歌山フェア」開催(11月)
- ・三越銀座店「みのりみのるマルシェ」開催(11月)
- ・東京海上日動本社「和歌山物産展」開催(12月)

○ 国際食品見本市等に出展

- ・第41回FOODEX JAPAN 2016に出展(県内17業者が参加)(3月) ※再掲
- ・香港フードエキスポ2016出展(県内7業者が参加)(8月)

○ 海外百貨店等で和歌山フェア開催・プロモーション実施

- ・台湾でのわかやまフェア開催(2月)
- ・香港における和歌山県産青梅のプロモーション(6月)
- ・台湾での桃フェア開催(7月)
- ・台湾の「中秋節梅酒大賞」での梅酒PR活動(9月)
- ・タイにおける和歌山県産柿のプロモーション(10月)
- ・カナダに向け、初めて和歌山県産柿を試験輸出、現地でプロ向けセミナーを開催(10月)
- ・シンガポール高島屋の「ジャパンフェア」に和歌山ブースを出展(11月)
- ・マレーシア現地高級スーパーでの「和歌山フェア」(11月)

○ 食品メーカー等との協働

- ・アサヒ飲料(株)が県産「南高梅」果汁を使用した「三ツ矢梅 咲」を全国発売(1月)
- ・資生堂パーラーにて和歌山県のいちご「まりひめ」を使ったパフェ提供(2月)
- ・資生堂パーラーにて「シェフお薦めコース」で紀州うめどりを使用(2月)
- ・カフェコムサ銀座店にてまりひめを使ったケーキとパフェを提供(3月)
- ・和みックスプロジェクト第1弾商品発売(日本ルナ(株)、サントリー酒類(株)、中野BC(株))(3月)
- ・和みックスプロジェクト第2弾商品発売(ローソン)(11月)
- ・資生堂パーラーにおいて和歌山県水産物を使ったコースが登場(5月、6月)
- ・和歌山イタリアンフェスタで和歌山県産食材が登場(6月)

- ・梅の日(6月6日)、東京都中央卸売市場(大田市場)において梅をPR(6月)
- ・ご当地スイーツバトル参加(6月)
- ・資生堂パーラーにて和歌山県の桃、いちじくを使ったパフェ提供(7月)
- ・関西空港でのPeach Aviationとのコラボで和歌山県産柿のPRイベント開催(7月)
- ・大阪中央市場において和歌山県産桃のPR(7月)
- ・和歌山食材テロワール事業園地視察・交流会(7月、11月)
- ・県産桃を使った「三角ももクリームパイ」を日本マクドナルド(株)が全国販売(8月)
- ・日本ルナ(株)が「バニラヨーグルト 有田みかん」を全国発売(9月)
- ・赤坂において和歌山とのコラボフェア「食いしん坊将軍祭2016」が開催(9月)
- ・亀田製菓(株)が「亀田の柿の種 ぶどう山椒」を全国発売(10月)
- ・Family Mart でコンビニスイーツ「わかやまポンチ」を期間限定販売(11月)
- ・Tastes of JAPAN by ANA WAKAYAMA キャンペーン実施(12月)
- ・カフェコムサにおいて、JA紀北かわかみの「あま熟富有柿」を使ったケーキを提供(12月)

○ 梅酒の酸味料添加判別法を開発(4月)

(独)酒類総合研究所(東広島市)との共同研究により、梅酒の酸味料添加判別法を開発

○ 農林水産業競争力アップ技術開発 平成28年度新規研究テーマを決定(4月)

種ショウガ生産技術の開発など12テーマを決定

○ 極早生いちご「紀の香(きのか)」を育成し、新品種として登録出願(4月)

農業試験場において、炭そ病に強く11月から収穫できるいちごの新品種を開発

○ 「まりひめプレミアム」デビュー(12月)

県オリジナル品種「まりひめ」を味、大きさ、熟度で厳選し、「まりひめプレミアム」として出荷

○ 完全養殖されたスマを初出荷(10月)

和歌山県水産試験場、東京海洋大学、(株)丸東(串本)の産学官が協力して、全身トロで大変美味しい高級魚「スマ」の完全養殖に取り組み、世界で初めて出荷

○ わかやま農産物安心プラス事業を推進

平成28年度認証 13団体 31品目(果樹11、野菜19、米1)

○ 学校給食等への県産農水産物5品目の提供

うめ 6月13日～6月24日  
 もも 7月4日～7月15日  
 かき 10月3日～10月28日  
 みかん 11月14日～11月18日  
 魚(アジ・サバ) 10月12日～2月14日

○ 「ウメ輪紋ウイルス」の感染確認、対策実施(平成28年4月～平成28年11月)

○ 有害鳥獣対策

- ・全国初となる新たな捕獲手法の確立に向けたニホンジカの夜間銃猟を実施(2月～3月)
- ・ニホンジカの個体数調整を行う管理捕獲を実施(4月～5月)
- ・狩猟の魅力を伝える研修会や狩猟体験ツアーを実施(7月、11月、12月)
- ・ニホンザルの個体数調整を行う管理捕獲を実施(通年)

○ 活かそう、つなごう！わかやまジビエ

◇ 「わかやまジビエ振興協議会」設立(7月)

わかやまジビエの食用等への利活用促進を図るため、民間主体の協議会を設立

◇ 里山のジビエバーガーがグランプリ！ ～とっとりバーガーフェスタ2016～(10月)

◇ 第3回日本ジビエサミットin和歌山を開催(11月)

◇ 「ジビエフェスタ2016」(2月)、「ジビエフェスタ2016-2017」(平成28年11月～平成29年2月)を開催

県内のホテル・料理店等でジビエ料理を楽しんでもらうイベントを実施  
 ホテルなど約60店舗、精肉店9店舗

## ○企業のふるさと

企業と農村地域が協働し、農産物作り等を通じて農地の保全や農村の活性化を図る取り組みを実施

- ・「伊藤忠商事株式会社」(かつらぎ町天野地区):
  - ①田植え、②サツマイモの植付け、③史跡説明板清掃などの作業を実施(6月)
  - ①稲刈り、②そば粉ドーナツづくり、③地域交流センター清掃などの作業を実施(10月)
- ・「関西電力労働組合和歌山地区本部」(田辺市本宮町発心門地区):  
手植えにより田植え作業を実施(5月)  
稲刈り作業を実施(9月)
- ・「井関農機株式会社」(橋本市西畑地区):  
井関農機の機械力を駆使し畑ごんぼの栽培ほ場準備と播種作業を実施(3月)  
収穫専用機械を使用した省力・軽労な畑ごんぼの収穫作業を実施(12月)

## ○「和(なご)みックス」協働プロジェクト 再掲

フルーツ王国和歌山のおいしい果実3種類以上ミックスして出来た商品を、県、食品メーカー等が商品開発から販売促進まで協働し、和歌山県産果実の魅力を伝える「和(なご)みックス」プロジェクトを推進

- ・第1弾として、紀州シトラスハイボール(サントリー酒類㈱)・紀州果実シロップ(中野BC㈱)・紀州フルーツミックスラッシー(日本ルナ㈱)を商品発売(3月)
- ・第2弾として、ホイップサンド・ケーキサンド・パイシュー・和みックスプレミアムロールケーキ(ローソン)を商品発売(11月)

## ○ 漁業取締船「はやぶさ」竣工(12月)

## ○ グリーンツーリズム、ブルーツーリズム推進事業をスタート(4月)

農林漁家民泊や体験交流施設等の整備や地域による情報発信活動などを支援

## ○ 農業大学校創立100周年記念式典(1月)

## ② 林業の振興

### ○ 「わかやま森林と樹木の日」記念行事を開催(5月)

### ○ 「選択と集中」を強化し、木材の増産を図るため、「森林ゾーニング」を実施

- ・「森林ゾーニング配置図」を公表(10月)

### ○ 大消費地への販売促進

- ・「住まいの耐震博」(1月、東京ビッグサイト)に和歌山県ブースを出展して紀州材製品のPRを実施
- ・紀州材・家づくりフェアをイオンモールりんくう泉南(2月)、イオンモール和歌山(6月)、イオンモール堺鉄砲町(10月)で開催
- ・優良紀州材展を東京中央木材市場(千葉県)で開催(3月)
- ・大紀州材展を丸宇木材市場(千葉県)で開催(10月)

### ○ 建築物の木造・木質化推進

- ・わかやま木の家コンテスト2015表彰式を開催(4月)
- ・平成27年度紀州材ベストユーザー賞表彰式を開催(5月)
- ・県内建築士を対象とした「きのくにわかやま木造塾」を開催(平成28年10月～平成29年2月)

### ○ 日本最大級の環境展「エコプロ2016」に「企業の森」を出展(12月)

### ○ 新に7つの団体・企業が「企業の森」に参加

- ・(新)関西大学「関西大学の森」(1月)
- ・(新)株式会社第一テック「繁栄の森」(1月)
- ・(新)コーナン商事株式会社「コーナン DIYの森」(2月)
- ・積水ハウス株式会社「積水ハウスの森」(2月)
- ・(新)TOTO株式会社「TOTOの森」(3月)
- ・株式会社紀陽銀行・紀陽銀行従業員組合「紀陽の森」(3月)
- ・(新)中西金属工業株式会社「NKCグループ 悠久の森」(8月)
- ・(新)三菱電機株式会社冷熱システム製作所「みつびしでんき・有田川の森」(10月)
- ・(新)株式会社濱本組「はぐくむ森」(12月)



○ 企業の森における森林保全活動

- ・ 関西大学「関西大学の森」森林保全活動
- ・ 日本労働組合総連合会和歌山県連合会「連合和歌山の森」森林保全活動
- ・ 株式会社第一テック「繁栄の森」森林保全活動
- ・ パナソニック株式会社エコソリューションズ社「パナソニック・田辺龍神ながきの森」森林保全活動
- ・ コーナン商事株式会社「コーナン DIYの森」森林保全活動
- ・ 丸紀木材工業株式会社「60年 感謝の森」森林保全活動
- ・ 西日本高速道路株式会社、西日本高速道路サービス・ホールディングス株式会社「つなぎの森」森林保全活動
- ・ 関西電力労働組合和歌山地区本部「関労和歌山いこいの森」森林保全活動
- ・ 花王株式会社和歌山工場「花王の森 紀美野」森林保全活動
- ・ 株式会社資生堂「椿の森」森林保全活動
- ・ 積水化学工業株式会社「積水化学の森」森林保全活動
- ・ 株式会社パンジー「パンジーまごころの森」森林保全活動
- ・ 株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ関西支社「ドコモ紀の国・明恵峡の森」森林保全活動
- ・ セイカグループ「セイカの森」森林保全活動
- ・ 日本たばこ産業株式会社「JTの森 中辺路」森林保全活動
- ・ 西日本電信電話株式会社和歌山支店「輝きの森」森林保全活動
- ・ 富士通株式会社「富士通グループ・紀州龍神せせらぎの森」森林保全活動
- ・ 全国共済農業協同組合連合会和歌山県本部「JA共済 絆の森」森林保全活動
- ・ わかやま市民生活協同組合「コープきょうどうの森」森林保全活動（古座川町）
- ・ 新日鐵住金株式会社和歌山製鐵所「新日鐵住金 和歌山の森」森林保全活動
- ・ 本州化学工業株式会社「本州化学の森・日高川」森林保全活動
- ・ ダイキン工業労働組合「ダイキン工業労働組合の森」森林保全活動
- ・ ユニチカ労働組合「ユニチカの森」森林保全活動
- ・ 三井住友信託銀行株式会社「しんたくの森」森林保全活動
- ・ 桃山学院大学「桃山学院大学・まなびの森」森林保全活動
- ・ 和歌山県オールトヨタ「やすらぎの森」森林保全活動
- ・ 和歌山県信用保証協会「信用保証の森」森林保全活動
- ・ 株式会社紀陽銀行・紀陽銀行従業員組合「紀陽の森」森林保全活動
- ・ 中西金属工業株式会社「NKCグループ悠久の森」森林保全活動
- ・ 積水ハウス株式会社「積水ハウスの森」森林保全活動
- ・ 有限責任監査法人トーマツ「トーマツの森」龍神村」森林保全活動
- ・ TOTO株式会社「TOTOの森」森林保全活動
- ・ わかやま市民生活協同組合「コープきょうどうの森」森林保全活動（日高川町）

## VII 癒しと感動を与える誇れる郷土和歌山

### 1. 観光の振興

- 「和歌山県観光振興アクションプログラム2016」を策定(4月)
- 和みわかやまプレミアムキャンペーン実施
  - 国の地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金を活用し、「和みわかやまプレミアムキャンペーン」を実施(期間:平成27年10月～平成28年3月)
  - ・ お得な旅一本県向けの旅行商品を最大50%オフで販売(実施期間は平成28年3月31日まで)
  - ・ 特別企画として、「和みわかやま・まるごとスタンプラリー」「1万人のウォーク&トレッキング」等を実施
- 「楽天トラベル」春旅行人気上昇エリアランキング2年連続第2位(3月)
- 平成27年の観光入込客数は、3,339万9千人と史上最高を記録(3月)
- 「水の国、わかやま。」キャンペーン
  - 和歌山の清らかな水をテーマに、まだ知られていない和歌山の魅力を全国に発信する「水の国、わかやま。」キャンペーンを実施(期間:平成28年7月21日～平成29年12月31日)
- 世界遺産「高野・熊野夢舞台」コンサート2016(11月)
  - 熊野那智大社を舞台に、元ちとせさんによるコンサートを開催
- 「楽天トラベル」年末年始国内旅行人気上昇エリアランキング第4位(12月)
- 高級ホテル・旅館開設促進のための奨励金制度の創設(9月)
- 大河ドラマ「真田丸」・戦国わかやま誘客キャンペーン
  - NHK大河ドラマ「真田丸」の放送を機に、真田信繁(幸村)ゆかりと戦国わかやまゆかりの地を中心としたキャンペーンを実施
- 世界遺産シンポジウム(10月)
  - 世界遺産の追加登録が決定した「紀伊山地の霊場と参詣道」について、資産の魅力や追加登録の意義、目指すべき方向性などを議論するシンポジウムを開催
  - 場所:イイノホール(東京都千代田区)
- 参詣道環境保全活動環境保全トレッキング(7月・10月・11月)
- 外国人観光客の誘客・受入環境整備
  - ・ 平成27年の外国人宿泊者数は、過去最高の42万人台を達成
  - ・ FIT(外国人個人観光客)誘客推進
    - 世界的ニュースサイトや有名テレビ番組などで和歌山の情報を発信
  - ・ 「和歌山フリーWi-Fi大作戦」の推進
    - 急増する外国人観光客等が快適に滞在できるよう、Wi-Fi接続環境の大幅な向上に取り組んでおり、9月末に平成29年度末の目標であった1,500アクセスポイントを達成
  - ・ 多言語案内表示の整備・充実
    - 観光地における案内表示の多言語化を実施(平成27年から2か年で約1,500箇所を整備)
  - ・ 和みわかやまプレミアムキャンペーン実施(平成27年10月～平成28年3月)※地方創生交付金活用事業
    - 海外からの団体客に梅酒などの県産品、平安衣装体験などの体験プログラムの提供
    - 海外からの個人観光客への県内バス周遊券の提供
    - 海外からの団体客に対するツアーバス代や南紀白浜空港へのチャーター便運航の支援
  - ・ 関西国際空港と高野山を結ぶリムジンバス(直行便)が運行開始(4月)
  - ・ 多言語観光ウェブサイト(Visit Wakayama)がリニューアル(5月)
  - ・ 多言語電話通訳・簡易翻訳サービスを開始(8月)
  - ・ 外国人観光客向け消費税免税店の拡充
    - 8店舗(H26.4) → 100店舗(H27.4) → 165店舗(H28.4) → 184店舗(H28.10)
  - ・ 「楽天トラベル」秋の訪日旅行(インバウンド)行き先別伸び率ランキング第4位(9月)

- ・「楽天トラベル」2016年 訪日旅行(インバウンド)の人気上昇エリアランキング 和歌山県(南紀白浜・龍神)が第9位(12月)

○ 国内の誘客を図る取組

- ・ 夏プロモーション実施(6月、7月)
  - JR西日本和歌山支社及び地域(市町村・観光関係団体・事業所)と協働し、夏の観光素材について、主に京阪神・西日本の旅行会社、メディア、消費者にアピールすることで夏季休暇中のファミリー層を中心とした誘客を促進。併せて、NHK大河ドラマ「真田丸」の舞台和歌山についてもアピール
- ・ 「おとなの白浜さんぽキャンペーン」実施
  - 日本三古湯で知られる泉質抜群の白浜温泉や椿温泉、日置川温泉のある白浜エリアを中心にお得に、楽しく周遊できるキャンペーンを実施(期間:平成28年10月1日～平成29年3月31日)

○ 「和歌山おもてなしトイレ大作戦」の実施

県、市町村及び鉄道事業者等の官民が協働して、県内の公共施設(約650箇所)や民間施設のトイレを重点整備(期間:平成25年4月1日～平成28年3月31日)

〈実施内容〉

- ・ 洋式トイレを導入し、温水洗浄便座を設置
- ・ 男性用小便器の自動洗浄化
- ・ オストメイト用設備の設置推進

○ 県内2信用金庫および信金中央金庫との観光・産業振興等に関する連携協定を締結(11月)

県と新宮信用金庫、きのくに信用金庫及び信金中央金庫が、それぞれが有する資源を活用して連携することにより、地域の活性化や県民サービスの向上等を図るため、連携協定を締結

2. 誇れる郷土づくり

○ 高速道路等の沿道における屋外広告物対策

高速道路等の沿道300mの範囲において原則禁止としている屋外広告物について、一定の基準に適合するものについては、設置を認める方向で規制を見直すとともに、違反広告物については、撤去指導の取り組みを推進

○ 「守ります、まちと優良農地」を撤回。(4月)

- ・ 県議会の議論を踏まえ、昨年8月に発表した「守ります、まちと優良農地」を撤回
- ・ 計画的なまちづくりと次代の農業のための優良農地の保全是重要なことなので、各地農業委員会及び市町村当局に対し、改めて法の趣旨に照らし、運用を行ってほしい旨の希望を表明

○ 「わがまち元気プロジェクト」を展開

愛着の持てる元気な農山漁村をつくるため、「わがまち元気プロジェクト」を推進  
(平成28年度実施決定プロジェクト)

- ・ いなみの魅力発信!『地産外商』プロジェクト(印南町 平成28～30年度)
- ・ 「オリンピック新種目スポーツライミングでスポーツのまちづくり」プロジェクト(みなべ町 平成28～30年度)

※下記5プロジェクトも継続事業として実施

- ・ 山の恵みとして活かす!「古座川ジビエ」プロジェクト(古座川町 平成27～29年度)
- ・ 里山の魅力発信!「川原げんき村」創造プロジェクト(紀の川市 平成27～29年度)
- ・ 紀の川市フルーツ・ツーリズムの展開によるファン獲得プロジェクト(紀の川市 平成26～28年度)
- ・ はしもと河南エリア「恋野・学文路」魅力アッププロジェクト(橋本市 平成26～28年度)
- ・ 南紀エリア「広域連携スポーツ合宿誘致」プロジェクト(南紀エリア 平成26～28年度)

○ わかやま版「過疎集落支援総合対策」を推進

住民生活の一体性を重視した過疎生活圏を対象に、日常生活機能の確保や地域活性化を総合的に図る取組を支援

◇ 平成28年度事業実施生活圏 3市町3生活圏

- ・ 長谷毛原(はせげばら)生活圏(紀美野町)
- ・ 新城(しんじょう)生活圏(かつらぎ町)
- ・ 四村(よむら)生活圏(田辺市)

また、事業実施に向け、紀美野町 志賀野(しがの)生活圏、古座川町 七川(しちかわ)生活圏で協議を進めている。

◇ 国事業(総務省)の活用 3市町3生活圏

- ・上秋津・長野(かみあきづ・ながの)生活圏(田辺市)
- ・大崎(おおさき)生活圏(海南市)
- ・天野(あまの)生活圏(かつらぎ町)

○ わかやま移住定住大作戦の展開

若年移住者への奨励金の交付や、空き家情報の集約・提供、地域資源を活用した起業支援など、「くらし」「住まい」「しごと」の3つの側面からサポートすることで、和歌山への移住を促進

- ・わかやま”なごみ”暮らし現地体験会

実施期間 1月16日～12月11日 計21回

場 所 紀美野町など県内18の移住推進市町村で開催

- ・ふるさと回帰フェア(8月、10月)

ブース出展し、和歌山県での田舎暮らしの魅力や受入体制等についてのPR及び相談会を実施

【大阪会場】8月6日 場所:大阪マーチャンダイズ・マートビル(大阪市中央区)

【東京会場】10月22日 場所:東京国際フォーラム(東京都千代田区)

- ・わかやま移住・就職フェア(7月、9月)

和歌山への移住を希望する首都圏の方々を対象に、複数の移住推進市町村及び民間事業者による移住に関する暮らしやしごとの相談会を実施

【東京会場】7月16日 場所:東京交通会館(東京都千代田区有楽町)

【大阪会場】9月22日 場所:難波御堂筋ホール(大阪市中央区)

- ・現役世代の移住受け入れ促進のための起業補助制度を実施 (採択:5件)

○ 大学のふるさと

都市部の大学が県内市町村と連携し、交流を通じた地域活性化に資する実践活動を行えるよう県がマッチングして連携協定を締結

・田辺市・関西大学(1月)

・那智勝浦町・京都橘大学(6月)

・かつらぎ町・大阪樟蔭女子大学(7月)

○ 半島振興対策促進大会を東京で開催(12月)

半島地域の個性ある自立的発展を図るため、全国の半島関係者が全国町村会館(東京都千代田区)に集まり、関係国会議員や関係省庁に対し、要望活動を実施

3. 環境・自然の保全

○ 吉野熊野国立公園指定80周年・拡張記念式典(2月)

国立公園指定から80周年を迎えたこと及び平成27年9月24日に区域が大幅に拡張されたことを受けて、記念式典及びキックオフイベントを白浜会館において開催

○ 第3回南紀熊野ジオパークフェスタ(2月)

南紀熊野ジオパークの活動や、ジオパークと国立公園との連携などについて、住民の理解・協力・参加を促進し、持続可能な地域づくりを推進するジオパークフェスタを白浜会館において開催

○ 第4次和歌山県環境基本計画を策定(3月)

持続可能な社会「将来にわたり住みよい環境わかやま」の実現を目指し、「低炭素社会の構築」、「循環型社会の構築」、「自然共生社会の構築」への取組を一体的に推進する和歌山県環境基本計画を策定

○ 「生物多様性和歌山戦略」を策定(3月)

本県の生物多様性を守るため、現状を主要河川の流域を基本とした6つの区域ごとに分析し、森里川海の連環の中で取り組むべき事柄を整理した「生物多様性和歌山戦略」を新たに策定

○ 第4次和歌山県廃棄物処理計画を策定(12月)

廃棄物の適正処理を推進することで県民の生活環境を保全し、持続可能な循環型社会を構築するため、平成32年度を目標年度とする第4次和歌山県廃棄物処理計画を策定

## VIII 県民の命と暮らしを守る安全安心和歌山

### 1. 防災・減災社会の実現

- 孤立集落通信訓練(1月)  
大規模災害時における孤立可能性のある集落と市町村との情報伝達の円滑化に資するため、防災行政無線等の動作確認や操作方法の習熟を図る通信訓練を実施
- 和歌山県防災会議(2月、11月)  
土砂災害危険個所の基礎調査結果の速やかな公表などを盛り込み、県地域防災計画を修正
- 和歌山県災害対策本部総合統制室運営図上訓練(2月)  
災害対策本部総合統制室の運営方法の検証、職員の災害対応能力の向上を目的とした図上訓練を実施
- 「世界津波の日」制定記念イベントの開催(2月)
- 津波災害警戒区域の指定(4月)  
津波防災地域づくりに関する法律に基づき、南海トラフ巨大地震による津波の浸水が想定される市町のうち、19市町において、この津波による浸水想定区域を津波災害警戒区域(イエローゾーン)に指定
- 津波災害対応実践訓練(7月)  
南海トラフ地震などの大規模災害に備え、迅速な初動対応と災害対応力強化を図るため、関係機関と連携した救助活動などの実践訓練を実施
- 第26回和歌山県消防ポンプ操法大会(7月)  
消防団員の士気の高揚と消防技術の向上を図るため、県内消防団による消防ポンプ操法大会を開催
- 「稲むらの火の館3D津波映像シアター」の多言語化対応(10月)
- 物資輸送・災害情報収集伝達訓練(11月)  
大規模災害時における救援物資の輸送等について、広域防災拠点(和歌山ビッグホエール)を開設して救援物資の受入・搬出等を行う訓練を実施
- 「世界津波の日」関連行事(11月)  
11月5日の「世界津波の日」「津波防災の日」を中心に、県民の防災意識の向上を目的とした関連行事を実施
  - ・ 濱口梧陵国際賞受賞者による記念講演会
  - ・ 津波防災講演会
  - ・ 「世界津波の日」高校生スタディツアー
  - ・ 「世界津波の日」地震・津波避難訓練
- 石油コンビナート等総合防災訓練(11月)  
石油コンビナート区域における地震災害時の被害に対応する訓練を実施
- 災害対策本部会議運営訓練(11月、12月)  
11月は風水害、12月は政府と合同で南海トラフ地震を想定した災害対策本部会議運営訓練を実施
- 熊本、鳥取県への災害派遣(4月、10月)
  - ・ 熊本地震では、初動から警察災害派遣隊やDMAT等医療関係者を派遣。また、関西広域連合の一員として益城町に災害廃棄物処理、避難所運営や住家被害認定等被災地支援のための職員を派遣。併せて、アルファ化米の提供、義援金など物的支援も実施
  - ・ 鳥取地震においても住家被害認定支援のための職員を派遣
- 稲むらの火の館とアチエ津波博物館による協定(1月)  
「世界津波の日」ゆかりの和歌山県広川町「稲むらの火の館」とインドネシア共和国アチエ州バンダ・アチエ市「アチエ津波博物館」が津波防災への取組を発展させるため協定を締結

- 「大規模災害時における災害廃棄物の処理等に関する協定」の締結(12月)  
災害廃棄物処理に必要な人員や車両等を確保するため、県内の産業廃棄物収集運搬業許可業者41社と協定を締結
- ジャパン・レジリエンス・アワード(強靱化大賞)2016において、本県の「津波による犠牲者ゼロの実現」の取組が地方自治体部門の金賞を受賞(3月)
- 和歌山県土砂災害啓発センターが完成(4月)
  - ・ 紀伊半島大水害で甚大な被害を受けた那智勝浦町内に、和歌山県が建設を進めていた土砂災害に関する研究・啓発の拠点となる「和歌山県土砂災害啓発センター」が完成
  - 国の「大規模土砂災害対策技術センター」を当施設内に誘致し、調査・研究・啓発活動を開始
- 日高川水系河川整備計画の策定(3月)
- 「2016ため池フォーラムinわかやま」開催(10月)  
全国から551名が参加。ため池築堤の歴史、点検・維持管理の重要性、本県のため池改修の取組について情報を発信
- 和歌山県消防救急デジタル無線の運用開始(4月)  
県内全域で消防機関の相互通信が可能となり、大規模災害発生時の迅速な災害対応や消防応援活動時の情報共有が可能な通信体制を確保
- 「わかやま防災カパワーアップ補助金」により、市町村が行う避難路整備等に対して支援

## 2. 暮らしの安全・安心

- 防犯カメラの設置推進(再掲)  
県内の防犯環境を整備するため、通学路や閑散地域に防犯カメラを設置する市町村を支援
- 歩道整備の加速化  
利用状況や周辺環境に応じた整備手法を用いることで、歩道整備を加速化
- 自転車保険への加入促進  
自転車事故に備え、損害保険会社等と連携し、自転車保険の加入を促進

## IX にぎわいと交流を支える公共インフラを整備する和歌山

### 1. 交通ネットワークの充実

#### ○ 道路網の整備

- ・ 主要地方道 御坊湯浅線(衣奈トンネル)供用開始(2月)
- ・ 一般国道42号有田海南道路起工式を開催(3月)
- ・ 一般県道 市鹿野鮎川線(赤木)供用開始(3月)
- ・ 一般国道169号奥瀬道路(Ⅲ期)の新規事業化(4月)
- ・ 京奈和自動車道の延伸を含めた幹線道路ネットワークの検討実施(4月)
- ・ 京奈和関空連絡道路調査検討会の設立(5月)

### 2. 快適なくらしの実現

#### ○ 貴志川線存続に関する基本合意書締結(1月)

貴志川線が安全に運行できるよう、老朽化した設備を整備する費用に対して、県、和歌山市、紀の川市で支援し、和歌山電鐵(株)が運行を継続する「貴志川線存続に関する基本合意書」を4者で締結(10年間で約12.5億円)

#### ○ 南紀白浜空港の利用促進

日本航空株式会社に利用促進策を働きかけ、「特便割引3」の料金引き下げ及び「特便割引3、7」の通年適用と機材の大型化(11月3日～20日の第3便日、76席→165席)を実現

## ○平成18年12月以降の本県への企業立地動向

	企業名	立地場所
1	アイコム(株)	紀の川市
2	(株)NTN	上富田町
3	(株)松源	和歌山市
4	ペトロマテリアル(株)	和歌山市
5	アトラック(株)	橋本市
6	エアウォーター(株)	和歌山市
7	本州化学工業(株)	和歌山市
8	剂盛堂薬品(株)	和歌山市
9	恵和(株)	印南町
10	(株)タカショー	海南市
11	原田織物(株)	橋本市
12	(株)スミロン	日高川町
13	(株)オークワ	和歌山市
14	(株)ユアブレインズ	和歌山市
15	ビーウィズ(株)	和歌山市
16	恵和(株)	御坊市
17	大輪産業(株)	橋本市
18	(株)アルバック	橋本市
19	亀宝倉庫(株)	和歌山市
20	(株)NMソルト	和歌山市
21	南海化学(株)	和歌山市
22	ミナベ化工(株)	みなべ町
23	パナソニック(株)AIS社	紀の川市
24	辻岡運輸(株)	和歌山市
25	新日鐵住金(株)	和歌山市
26		和歌山市
27	和興建産(株)	和歌山市
28	太陽食品(株)	和歌山市
29	極東化成工業(株)	岩出市
30	尾高ゴム工業(株)	紀の川市
31	関戸運輸(株)	和歌山市
32	アドバン工業(株)	和歌山市
33	(有)久保田エンジニア	紀の川市
34	(株)ホタニ	紀の川市
35	(株)エスアールアイ	海南市
36	ペトロマテリアル(株)	和歌山市
37	東京製綱(株)	和歌山市
38	セイカ(株)	和歌山市
39	(株)マルテン天満屋	日高川町
40	(株)コズミックランド	白浜町

	企業名	立地場所
41	大阪富士工業(株)	和歌山市
42	笠野興産(株)	和歌山市
43	(有)コバタ総合研究所	橋本市
44	田辺金属工業(株)	田辺市
45	朝日オリコミ和歌山	和歌山市
46	(株)中井鉄工所	橋本市
47	(株)しんこう技研	紀の川市
48	旭精機(株)	橋本市
49	(株)NMソルト	和歌山市
50	木本産業(株)	有田市
51	尾高ゴム工業(株)	紀の川市
52	太洋工業(株)	和歌山市
53	住友精密工業(株)	和歌山市
54	花王(株)	和歌山市
55	エアウォーター(株)	和歌山市
56	南海化学工業(株)	和歌山市
57	(株)三晃精密	橋本市
58	(株)ふみこ農園	有田市
59	(株)テクノ・アシスト	紀の川市
60	棒引製材	みなべ町
61	白光印刷	和歌山市
62	林化成(株)	橋本市
63	(株)見果てぬ夢	田辺市
64	大日本除虫菊(株)	海南市
65	共同印刷(株)	有田川町
66	花王(株) ※研究施設	和歌山市
67	紀和化学工業(株)	紀の川市
68	三菱電機(株)	和歌山市
69	日建産業(株)	御坊市
70	豊国金属工業(株)	橋本市
71	ミナベ化工(株)	みなべ町
72	(株)ニッコク	岩出市
73	紀州ファスナー工業(株)	御坊市
74	(株)九重雑賀	紀の川市
75	(株)丸徳水産	和歌山市
76	ハグルマ(株)	紀の川市
77	藤本製薬(株)	御坊市
78	北広ケミカル(株)	橋本市
79	ヤマトコンタクトサービス(株)	和歌山市
80	日進化学(株)	橋本市



	企業名	立地場所
81	スターゼン西日本販売(株)	和歌山市
82	(有)日本鮭養殖	那智勝浦町
83	(株)串本マリンファーム	串本町
84	南紀串本水産(株)	串本町
85	東京製網(株)	和歌山市
86	川口水産(株)	有田市
87	和歌山ガーデンクリエイト(株)	海南市
88	(株)ケー・ワイ・ビー	紀の川市
89	(株)イブバイオサイエンス	橋本市
90	中紀精機(株)	御坊市
91	(株)エス・ティー・ワールド	和歌山市
92	(株)赤井工作所	岩出市
93	(株)ユニカル	橋本市
94	クックスベスト(株)	那智勝浦町
95	(株)ゼネラルステッカー	田辺市
96	ナイス(株)	和歌山市
97	松林金属(株)	橋本市
98	(株)インテリックス	和歌山市
99	中部抵抗器(株)	紀の川市
100	富士香料化工(株)	橋本市
101	岡村製油(株)	橋本市
102	理工協産(株)	橋本市
103	(株)たにぐち	日高川町
104	川本化成(株)	和歌山市
105	(株)玉林園	和歌山市
106	(株)丸阪	橋本市
107	藤本食品(株)	岩出市
108	小川工業(株)	橋本市
109	北辰精工(株)	橋本市
110	(株)フューチュレック	海南市
111	(株)河鶴	みなべ町
112	橋電装工業(株)	和歌山市
113	(株)紀山	紀の川市
114	紀南パンジー(株)	上富田町
115	菱岡工業(株)	和歌山市
116	EH製菓(株)	田辺市
117	(株)エムジェイテック	橋本市
118	中辻産業(株)	橋本市
119	真和テック(株)	橋本市
120	ナカザワ建販(株)	紀の川市

	企業名	立地場所
121	東研サーモテック(株)	橋本市
122	(株)ニュートン・フィナンシャル・コンサルティング	和歌山市
123	(株)山登化学	橋本市
124	大和歯車製作(株)	日高川町
125	南海スチール(株)	和歌山市
126	(株)九重雑賀	紀の川市
127	(株)竹中商店	田辺市
128	(株)プリントテクニカ	橋本市
129	メディスト(株)	白浜町
130	(株)興栄ケミカル工業所	橋本市
131	(株)早和果樹園	有田市
132	(株)インテリックス	和歌山市
133	中紀精機(株)	印南町
134	笠野興産(株)	和歌山市
135	太陽シールパック(株)	和歌山市
136	(株)ポタジエ	紀の川市
137	(株)サンコー	海南市
138	尾高ゴム工業(株)	紀の川市
139	(株)セールスフォース・ドットコム	白浜町
140	(株)梅丹本舗	紀の川市
141	ライオンケミカル(株)	和歌山市
142	旭精機(株)	橋本市
143	(株)西日本建設物流	和歌山市
144	和歌山太陽誘電(株)	印南町
145	日本遠隔制御(株)	橋本市
146	クオリティ(株)	白浜町
147	毎日マーク(株)	橋本市
148	光栄ピーナッツ(株)	橋本市
149	デュプロ精工(株)	紀の川市
150	前田ロープ工業(株)	海南市
151	(株)食緑	新宮市
152	(株)寿精密	かつらぎ町
153	(株)サンオー	和歌山市
154	北広ケミカル(株)	紀の川市
155	澤田酒造(株)	橋本市
156	(株)菖蒲谷	湯浅町
157	ナギサビール(株)	白浜町
158	(株)インテリックス	和歌山市
159	NECソリューションイノベータ(株)	白浜町
160	(株)TREE	白浜町

※太線枠内は、平成28年立地企業